



探偵は
BARにいる3

対談 プロデューサー

須藤 泰司
栗生 一馬

秋元市長

映像が届ける 街の魅力

札幌のすすきのを舞台にした映画シリーズの最新作『探偵はBARにいる3』が12月1日(金)から公開。ここでは、札幌出身のプロデューサーのお2人と市長の対談を通して、映画が伝える街の魅力や映像の力に迫ります。

詳細 IT・クリエイティブ産業担当(21) 2379



プロデューサー
すとう やすし
須藤 泰司

1968年生まれ、厚別区出身。同志社大学卒業後、東映に入社。テレビ「相棒」シリーズのほか、数多くのテレビドラマを手掛ける。本シリーズ1作目では脚本も担当。



プロデューサー
くりゅう かずま
栗生 一馬

1978年生まれ、北区出身。明治大学在学中から自主映画を製作。卒業後、東映に入社し、数々の映画をプロデュースする。本シリーズは2作目から参加。

札幌の今を切り取った作品に

河野 札幌が舞台のシリーズ最新作。どんなところに力を入れましたか。

須藤 撮影では、毎回街の移り変わりが感じられる場所を選ぶことにこだわっています。今回は42年ぶりに復活した駅前通の市電路線や新設された狸小路停留場を取り入れましたよ。

栗生 そうなんです。1作目はJR札幌駅の南側にあった解体前の五番館ビル、2作目では開通直前の駅前通地下歩行空間と、シリーズを通して街の記録としても楽しめるように意識しています。

市長 私の出身地である夕張市がロケ地の映画『幸福の黄色いハンカチ』昭和52年公開』でも、当時のにぎやかな街並みが映像に残っています。札幌の街を懐かしく振り返る、この作品はそんな楽しみ方もできそうですね。

撮影を支える地域の力

河野 市内での撮影期間は2月中旬からの約1カ月間。大勢の市民の方も参加されたとか。

須藤 はい。サッポロファクトリーでの撮影では、3日間で延べ約2千人の方にご協力いただき、感謝しています。そ、

の場面は市長にもご出演いただきました。

市長 人気作に出演できて、とても光栄でした。現場に入ったとき、大勢のエキストラがいて、皆さんの関心の高さを実感しましたね。

栗生 エキストラの募集やロケ地の調整は、市のフィルムコミッション事業（7ページ上）を利用しました。そのおかげで、営業中の商業施設や病院の一角を貸し切った撮影が実現できたんですよ。

市長 自分の住む街が舞台になる、作品に関わる——こうしたことが街に愛着や誇りを持つきっかけの一つになっていくのではないかと思います。

改めて気付く札幌の良さ

河野 札幌出身のお二人が思う、街の良さを教えてください。

須藤 街の魅力が増すのはなんといっても冬。雪をまとった街並みに、すすきのの鮮やかなネオンが映えるんですよ。ほかにも、人の心の広さも素敵だと思います。新しいことを受け入れる柔軟さを感じますね。

栗生 本当にそうですね。作中、大泉洋さんとヒロインの北川景子さんがすすきのを歩く場面があります。人通りが多い場合、他都市だと撮影自体難しい、



S F C
Sapporo Film Commission

市の取り組み

市内ロケの誘致、サポートを行う フィルムコミッション

市は国内外に街の魅力を発信していくため、札幌を舞台にした映画、テレビドラマなどの誘致を進めています。『探偵はBARにいる』シリーズの撮影でも、ロケ地の調整やエキストラの確保などを支援しました。



▲平日の撮影にも関わらず、サッポロファクトリーのアトリウムを埋め尽くすエキストラ

【過去に支援した主な作品】

映画『鏡の中の笑顔たち』(日本、平成27年5月公開)

映画『One Day』(タイ、平成28年9月公開)

映画『プリンシパル』(日本、平成30年3月公開予定)

主演の大泉 洋さんからの メッセージ

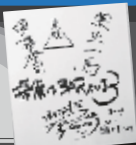


今回も多くの市民の皆さまに撮影にご協力をいただき、極上のエンターテインメント作品が完成いたしました。僕のアツく札幌の街の魅力を伝えるような作品になっていると思います。探偵の活躍とともに、自分たちの街がどのようにスクリーンに登場するのかをぜひ、映画館で見て楽しんでください。

読者プレゼント

- ① 須藤さん、栗生さん、河野さんの直筆サインを3人に
- ② 映画オリジナルTシャツ(Mサイズ)を5人に

申込はがき、ファクス、Eメール。希望商品名、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の感想を記入し、12/22(金)(必着)までに広報課(1ページ)へ。抽選



対談司会

オクラホマ

かわの しんや

河野 真也

1980年生まれ、大阪府出身。お笑いコンビ・オクラホマとして、北海道を中心にバラエティ・情報番組で活躍する。本作にも出演。

札幌市長

あきもと かつひろ

秋元 克広

12/1(金)
公開

探偵はBARにいる3



札幌在住のミステリー作家・東直己氏の小説「ススキノ探偵」シリーズを映画化。すすきのにあるバーを根拠にする探偵(俳優・大泉洋)と相棒(俳優・松田龍平)が街を縦横無尽に駆け回り事件を解決する姿を描く。

監督吉田照幸 脚本古沢良太 音楽池頼広

出演大泉洋、松田龍平、北川景子、前田敦子、鈴木砂羽、

リリー・フランキー、河野真也、藤尾仁志 ほか

劇場札幌シネマフロンティア(中央区北5西2ステラプレイス内)、ユナイテッド・シネマ札幌(中央区北1東4サッポロファクトリー1条館内)ほか

街の魅力あふれる映画に

河野 市民の皆さんへ一言、お願いします。

栗生 シリーズ3作品中、一番札幌らしい作品になりました。本作から見始めても楽しめる内容に仕上がっていますよ。

須藤 何気ない風景が、映画の舞台になるだけで特別な景色に見えたりします。ぜひこの作品を見て、探偵と相棒が駆け回っ

た街へと繰り出してほしいです。

市長 そうですね。「いいところかな」「あの場所がこんなふうに使われるんだ」なんて普段過ごしている街を思い出しながら見ると、新たな発見があると思いますよ。また、今後もうこうした映像の製作を後押しすることで、街の魅力を世界に届けていきたいですね。



©2017「探偵はBARにいる3」製作委員会